



報道
STATION

月～金よる 9:54～

(※番組HPから)

緊急院内集会

「報ステ」を問う

2/13(木) 12:00～

@衆院第一議員会館 第1会議室 (地下1階)

テレビ朝日が昨年末、番組リニューアルを理由に、報道番組『報道ステーション』の社外スタッフ約10人に対し、今春で契約を打ち切る方針を通知しました。

契約終了を一方向的に通告されたスタッフは、いずれも10年前後番組を支え、ニュース担当のディレクターを務めていました。中東情勢や沖縄の基地問題、原発、災害、事件報道などに精通しており、番組の中核スタッフとして、時に政治権力などからの圧力を受けながらも、政治や社会の問題点に斬り込む日本有数の報道番組を支え、**日本のジャーナリズムを体現してきたメンバー**です。

メディア関連労組でつくる「日本マスコミ文化情報労組会議(通称 MIC)」は、「真摯に番組制作に取り組んできた労働者の権利と尊厳を踏みにじる行為で、経験豊かなスタッフの大量排除は、事実上の番組解体にもつながるものだ」とテレビ朝日に契約終了通知の撤回を求めています。

今回の強引な労務政策は、番組スタッフ以外にも不安を広げており、すでにショックで体調を崩した人も現れています。

テレビ朝日が社外スタッフの契約を大量打ち切りへ
日本有数の報道番組は「解体」の道をたどっているのか

とりわけ、**雇用不安がジャーナリズムの萎縮に繋がる**ことを危惧しています。

『報道ステーション』において昨秋、テレビ朝日社員である**チーフプロデューサー(当時)のセクシュアルハラスメントの問題**が発覚しました。社外スタッフに対するハラスメントもありました。そうした問題が起きた後に、テレビ朝日が取るべき対応は、加害者を厳罰に処したうえで、スタッフたちをしっかりと守ることで、「人心一新」といって、社外スタッフの入れ替えが強行されれば、「声を上げると不利益を被る」という誤ったメッセージとなりかねません。

自民党幹部への謝罪など、同番組で相次ぐ問題も踏まえながら、**報道機関のあるべき姿**を皆さんと一緒に考えたいと思います。

参加費無料

主催: 日本マスコミ文化情報労組会議

(新聞労連、民放労連、出版労連、全印総連、映演労連、映演共闘、広告労協、音楽ユニオン、電算労)

問い合わせ: 03-3816-2988